

47回 薬用植物園公開講座と見学会 を開催しました。

当日は、246名の方がご参加されました。

第1部 公開講座

「自然が生んだ薬ー2億人を救った薬から漢方薬までー」

(特非)顧みられない病気の新薬開発イニシアティブ(DNDi) Japan理事長
東京薬科大学客員教授/北里大学名誉教授 山田陽城 先生

天然物から開発された医薬品が全世界で億単位の人々の命を救っていること、そして現代の日本では、天然からの贈り物である漢方薬が西洋薬を補完して健康寿命に寄与していることをお話してくださいました。



「植物と甘味」

東京薬科大学 三宅克典 先生

甘味料には人工甘味料と天然甘味料があり、天然にも砂糖のような糖質系のものと非糖質系のものがあること、そして、それらの甘味料の原料の植物について解説してくださいました。



第2部 植物園見学

園内には、多種の花が咲き、いろいろな実がなっていました。
来園者は、五感で植物を楽しまれました。



鞘を割ってみると、確かにゴマが入っていました



ナツメの葉を噛むと甘味を感じなくなり、びっくり。もちろん、しばらくすれば、また感じるようになりますから、ご安心を。



「おいしそう!」っと目を輝かせて、思わず叫んでしまいそうになるくらい立派に実っていますが、どちらも食用ではありません。たくさん実っているのに残念です…。



コロシントウリ

とても苦く、誤って食すと、激しい下痢症状が発症します。

次回(第48回 薬用植物園公開講座)は、**来年6月上旬**を予定しています。
詳細は決まり次第、本学のホームページにてお知らせいたします。